

給食の感想をホームページに掲載する高月小学校給食委員会の児童



高月小学校では、ランチルームに全校児童が集まり給食を食べます。児童たちは、栄養教諭の書いたランチメッセージをこの時間に紹介し、給食後には、学校のホームページ「今日のランチ」コーナーに、写真付きで毎日感想をあげています。またこの日は、栄養教諭による食育の授業が行われています。



ライブストロングウィークを実施する北中学校保健委員会の生徒



栄養教諭による食育授業の様子（高月小学校）



長浜北中学校の給食時間の様子

市民の声 取材を終えて

「生きた食の教育を」

子どもたちが日々食べている給食ですが、今まで何気なくあたりまえに感じていたように思います。しかし、今回の取材で子どもたちが給食を通じて、家庭だけではなく、地域・給食センター・学校園など、様々な人の中で成長させていただいていることを実感し、本当に心強く、嬉しく思いました。

また、小中学校での給食に関わる取組みも見学させていただきました。取組みの方法は様々ですが、産み手・作り手の想いを子どもたちにつなぐために、まずは子どもたち自身が「食べる」ことに関心をもてるよう取り組まれている姿がとても尊いと感じました。

一方、子どもたちには、ただお腹を満たすだけでなく、ぜひこうしたくさんの人々の「想い」に出逢ってほしい。様々な人の想いに包まれて自分たちがここに居ることを感じてほしいと願っています。

新しい学校給食センターには、子どもたちの健康面への配慮から、炊飯設備が整えられ、地元産のホカホカご飯を

を盛り込んだり、湖魚など湖国・滋賀ならではの味や食材も積極的に取り入れられます。「苦手に感じる子もあるかもしれないが、まずは味わってみてほしい。『知る』『食べた』ことが『食』ということが大事だ」と。このように給食は、季節の味、地元の味に触れる機会にもなっており、献立だけではなく、食材の選定にもそのこだわりがあります。できる限り地元産のもの、旬のものを採り、「物資選定委員会」に提案し、決定しています。



毎日各学校に届けられる子どもたちへの想いあふれるランチメッセージ

残食をなくそう！

その他、小学生を対象とした栄養指導や給食訪問を行い、子どもたちが食べている様子を見て、声を聞き、献立の参考にすることもあります。そして毎月一回家庭に配布している『給食だより』に加え、毎日各学校に「ランチメッセージ」を届けています。献立内容や栄養について、また使っている地元食材の紹介など、そこには、青柳さんをはじめとする5人の栄養士の子どもたちへの想いがいっぱい込められています。

長浜北中学校では、生徒発案で「ライブストロングウィーク」と名付けた給食の残食をなくす取組みが行われています。以前は、残食が多く、特に野菜は一切食べないなどの偏りがある生徒が多かったそうです。なんとか残食をなくせなかと、先生が生徒会の保健委員会に持ちかけたことから始まりました。



残食のチェックを行う北中学校生徒

給食後は、保健委員会がチェックを行います。この取組みを始めてから、生徒の食べる量がぐんと増えてきました。この日も残食はほとんどなかったようです。

保健委員長の面川沙希さん、副委員長の西谷遙希さん（ともに3年生）は、「以前は、給食を残す人が多かったのですが、この取組みを通じて、学校給食に関心を持って、作ってくれている人への感謝の気持ちが考えられるようになりました。今後は、この取組みの週以外の日でもがんばって残食ゼロにしていきたいです」と話しました。

届けていただけることは、本当に嬉しく、楽しみです。「食べる」ことは、生きるということと言えます。未来ある子どもたちが、確かな食体験のもと、本当の意味で豊かに、しっかりと生きていけるよう、私たちも、親として、地域の一人として、子どもたちの「食べる」を見直していきたいと思えます。

給食を通じて、「地域のみんな」で、寄ってかかって、子どもたちの健やかな育ちを見守る、「その見守りの輪がさらに広がっていくことを願っています。」

地元、湖北長浜の子どもたちを想い、その「食べる」を大事に・・・ぜひ皆さんとともにすすめていただきたいと思います。



新学校給食センターの説明を受ける市民レポーターの皆さん

市民レポーター紹介 私たちは、子どもの「食べる」を大事に考えるネットワーク湖北です！

■ごはん大好き！にぎにぎの会
月1回「食の座談会」を開催。先人の知恵を借り、ご飯・みそ汁・お漬物を食卓に！（代表者 田中裕子）

■長浜わくわくおっぱい塾
助産師を中心に第1金曜日に座談会を開催し母乳育児を応援（代表者 田中美穂）



■mam's kitchen つぶつぶ
シンプル＆ナチュラルな暮らしを目指して活動。雑穀を食卓に！（代表者 小倉由香里）

■キッチン・キス
食育、体にやさしいお弁当、鮎ズシ飯を使った焼き菓子の販売等（代表者 井上淳子）

■食育ながはま元気っ子の会
朝ご飯や一汁三菜の啓発活動、親子料理教室の開催等（代表者 村田はるみ）

問 niginiginokai@yahoo.co.jp